

ディ ブ ロ マ ・ ポ リ シ ー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多様な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容		環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「知識・情報収集」は「情報収集」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「知識力（量）、情報収集力（探し方）」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「コミュニケーション力」は「情報収集」「試行（思考）実験←→検証ループ」「決断」「定着」の4つ全てのフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「吸収力」「試行力（行動での）」「決断力」「判断力」「配慮力(思いやり)」「粘り強さ」「継続力」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「倫理観」は「情報収集」「決断」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「観察力（愛）」「均衡点の感知力」「焦点力」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「論理的思考力」は「情報収集」「試行（思考）実験←→検証ループ」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「思考力」「試行力（頭での）」「分析力」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「発想・構想力」は「試行（思考）実験←→検証ループ」「決断」「定着」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「仮説力」「対応力」「ものごとを結びつける力」「整理力（理由構築力）」「（レイアウト力や画面整理・紙面の組立力、ストーリー組立力という意味での）構想力」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「表現力」は「定着」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「定着力」や「（ひとりよがりにならない、あるいは他者の視点の獲得という意味での）表現力」

学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（選択）※履修推奨
----	---	----	----------	----------	------------	-----------------

4	16	発展	卒業研究・制作（8単位） 卒業制作									
	15											
	14		環境デザイン研究2（2単位） 建築、インテ、ランドの専門性を深める（ゼミ）		環境デザイン研究2（2単位） 建築、インテ、ランドの専門性を深める（ゼミ）							
	13		環境デザイン研究1（2単位） 建築、インテ、ランドの専門性を深める（ゼミ）		環境デザイン研究1（2単位） 建築、インテ、ランドの専門性を深める（ゼミ）							
3	12	応用	進級研究・制作3（4単位） 「ショート課題」「ポートフォリオ作成」「定着と発表」（グループワークを含む）									
	建築積算・施工（2単位） 建設における積算および 施工の基礎知識		まちづくり計画論（2単位） 地域・都市の計画と環境デザイン									
			建築法規（2単位） 建築基準法と関連法規		構造計画（2単位） 建築の構造体を探求する		過程設計2（2単位） 「設計」の設計2					
					構造力学（2単位） 力学の基礎を学ぶ							
	ランドスケープ計画論（2単位） ランドスケープデザインの史的展開 と今後への展望											
	建築設備学（2単位） 建築の環境制御手法					過程設計1（2単位） 「設計」の設計1						
	就職対策特講（1単位） インターンシップ・就職活動に向けて、 準備＆実践する											
夏			庭園演習（2単位） 庭園維持・管理実習				環境計画（4単位） 都市公共施設の設計 （領域別選択課題）		環境デザイン論3（2単位） ポートフォリオ論、プレゼンテーション 論、ディテール論			
	10	就職対策特講（1単位） インターンシップ・就職活動に向けて、 準備＆実践する										
2	8	基礎	進級研究・制作2（4単位） 都市施設の設計（グループ課題）									
			建築一般構造2（2単位） 素材と架構と空間特性									
			建築材料科学（2単位） 建築材料の特性を知る									
			キャリア研究応用（1単位） 自己と職業への理解を深め、インターン シップの準備と実践を行う									
			人文地理学（1単位） 人間と空間・環境の関係を考える									
			空間論（1単位） 「空間」を科学的に考え、 展示空間の構成力を養う									
			キャリア研究応用（1単位） 自己と職業への理解を深め、インターン シップの準備と実践を行う		環境デザイン論2（2単位） 京町家論、木造伝統工法論、作庭論				環境デザイン3（4単位） 集合住宅による居住環境の設計 （グループ課題）		CAD2（2単位） BIM+デジタルファブリケーション	
			哲学概論（1単位） 哲学は何を問いとしてきたか									
			環境科学（1単位） 地球環境問題を科学的視点 でとらえなおす									
			色彩論1（1単位） 色彩を感じ、 「色」を科学的に考える									
	色彩論2（1単位） 「色」を科学的に捉え、表現する											
	6	建築計画論（2単位） 建築の目的・機能と空間		農演習2（2単位） 暮らしを学ぶー加工と保存		環境工学（2単位） 快適な建築環境を学ぶ		環境デザイン2（4単位） 住宅設計（実施レベル）				
		工芸デザイン論2（1単位） パウハウス以降の モダンデザインの歴史										
		美学（1単位） 世界を概念により直感と感性によって 認識することの意味を考える										
	5	生命科学（1単位） 人間と自然の関係を生命という観点から とらえなおす		農演習1（2単位） 暮らしを学ぶー有機農法		環境デザイン論1（2単位） 集合住宅設計論、インテリア素材論、建 築矩計論		環境デザイン1（4単位） 小規模商業空間の設計		CAD1（2単位） 3Dスタディ+2DCAD(実践）+アプリケー ションの連携		
		芸術哲学特論（1単位） 西洋の哲学と芸術の流れと 枠組みの基礎的理解								彫刻基礎演習（2単位）※教職 彫刻分野の基礎を身につける。		
		工芸デザイン論1（1単位） 19世紀末からパウハウス誕生 までのデザイン史								デザイン基礎演習（2単位）※教職 デザイン分野の基礎を身につける。		
										絵画基礎演習（2単位）※教職 絵画分野の基礎を身につける。 工芸基礎演習（2単位）※教職 工芸分野の基礎を身につける。		

ディ ブ ロ マ ・ ポ リ シ ー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多面的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容		環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「知識・情報収集」は「情報収集」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「知識力（量）、情報収集力（探し方）」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「コミュニケーション力」は「情報収集」「試行（思考）実験←→検証ループ」「決断」「定着」の4つ全てのフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「吸収力」「試行力（行動での）」「決断力」「判断力」「配慮力(思いやり)」「粘り強さ」「継続力」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「倫理観」は「情報収集」「決断」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「観察力（愛）」「均衡点の感知力」「焦点力」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「論理的思考力」は「情報収集」「試行（思考）実験←→検証ループ」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「思考力」「試行力（頭での）」「分析力」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「発想・構想力」は「試行（思考）実験←→検証ループ」「決断」「定着」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「仮説力」「対応力」「ものごとを結びつける力」「整理力（理由構築力）」「（レイアウト力や画面整理・紙面の組立力、ストーリー組立力という意味での）構想力」。	環境デザイン学科が定める<設計ルート>において、「表現力」は「定着」のフェーズと関係する。キーワードを絞り込むなら「定着力」や「（ひとりよがりにならない、あるいは他者の視点の獲得という意味での）表現力」

学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（選択）※履修推奨
----	---	----	----------	----------	------------	-----------------

1	4	入 門	進級研究・制作1（2単位） グループ課題「家具基礎」「ランドスケープ基礎」						
			建築一般構造1（2単位） 建築をかたちづくる基本	異文化コミュニケーション（1単位） 異なる文化の違いを認め、 理解する力を身につける				環境デザイン基礎4（4単位） 身体スケールの環境デザイン	
	芸術と自然2（1単位） アートの視点から、自然を表現する								
	3		近代建築史（2単位） 近代建築およびインテリアデザインの 思想と歴史	異文化コミュニケーション（1単位） 異なる文化の違いを認め、 理解する力を身につける					PC・CAD初歩（2単位） プレゼン基礎+2D CAD
			環境デザイン基礎3（4単位） 建築設計製図基礎 2—空間分析						
			芸術と自然1（1単位） サイエンスの視点から、 自然を探究する						
	2		環境デザイン論初歩（2単位） カジュアルまちづくり、建築、インテリア設計 論の初歩		藝術立国論（1単位） 京都芸術大学を学ぶ	芸術と心理2（1単位） 進化の視点から、芸術する こころの基盤について考える	環境デザイン基礎2（4単位） 住宅の設計		
	1		前近代建築史（2単位） 日本建築史+世界建築史		環境デザイン概論（2単位） 環境デザインの現在	芸術と心理1（1単位） 芸術を生み出し芸術を感じる人の こころを学ぶ			
			環境デザイン基礎1（4単位） 建築設計製図基礎 1—製図法						
			芸術教養論（1単位） 大学での学び方を学ぶ						